

腕おんな 惚れつぼい が取りたて屋 テキヤさん

ないようです。 旅は道づれ世は情……などと申しますが、どうも現実は油断もスキも

せたマサルという男の子……。 気の弱い駿介がなぜか蒸発、残ったものは、多額の負債と他の女に産ま ゆき(吉永小百合)。この世の春と思いきや、そうは問屋がおろさない 普通なら意気消沈、路頭に迷うというところだが、九州は小倉、 ホステスから、 貿易商社の三代目、 山岡駿介と結婚。玉の輿に乗った

生まれのゆきはそんな柔な女じゃない。 15年前に理由あって、逃げるようにして出て来た生まれ故郷に、

テキ屋のお兄ィさん(風間杜夫)。 でスゴ腕ときている。 くる女(八代亜紀)がいる。月代という取り立て屋で、これがまたいい の消息を聞いたゆきは早速、九州へ。そのゆきに付かず離れず、ついて 幼な馴染みのゆきに色目を使いながら、 ちゃっかり月代にも言い寄る、

行く先々で繰り広げられる愛と涙とユーモア、つれづれ大ロマン――。 娯楽話題作です。 し騙され、追いつ追われつしているうちに、いつの間にやら三人四脚。 い金と運を賭けて、土地の実力者相手に一獲千金を夢みて、大勝負。 この「玄海つれづれ節」は、8年新春に、東映が自信をもって贈る超 金は天下のまわりもの。運も天下のまわりもの。その、まわってこな

てホットな映画となっている。 撮影の大半を九州は玄海で敢行。 スケールの大きさとともに、 明るく

見せ、多方面から注目を集めている。 る八代亜紀。初めての本格的映画出演だが、吉永とは堂々の共演ぶりを ら『行動する女』へ華麗に変身、今までにない魅力を見せている。 したたかで人情に厚い、九州女の魅力を見事に表出。『耐え忍ぶ女』 このゆきと女の友情で結ばれる月代役には、 ″演歌の女王』と謳われ 今回、主演作98本目となった吉永小百合は、可愛いくてたくましく、

イングが実現。 また、玄海の土地の実力者に三船敏郎が扮する他、樹木希林、 ゆきと月代にからむ男、 木内みどり、 伏見扇太郎、草笛光子など、異色かつ豪華なキャステ 竹田には、男の色気が漂う超人気・風間杜夫 岡田裕

あたる。撮影はベテラン、飯村雅彦。なお、

下飯坂菊馬、兵頭剛の共同執筆。

脚本は、吉田兼好作「徒然草」第38段よりヒントを得て、笠原和夫、

監督には、

CMで活躍中の作曲家、 「天国の駅」の出目昌伸が

7

ーク・ゴールデンバーグが初めて映画のテーマ音楽を手がけている。

前壳券発壳中

般券 1,200円 学生券 1,000円

044(211)6125 ミスタウン